

謹賀新年

精励恪勤を貫いて
タクシートの価値を高めよう！



新年のご挨拶



東洋交通労働組合
執行委員長
菊池 るみ

東洋交通労働組合に結集する組合員のみならず、ご家族のみならずにおかれましては、健康やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げますとともに、旧年中の組合活動に対するご理解と多くのお力添えに心より感謝を申し上げます。

タクシートの存続を賭けた戦い

2022年11月、15年ぶりに行われた運賃改定は、三年余り続いたコロナ禍の厳しさを、僅か数か月で忘れ去るほど売上は上昇し、乗務員の実質賃金を引き上げました。やつとコロナ禍を乗り越えられたと実感し安堵したのも束の間、急激に増えたインバウンドへの対応など、乗務員不足・稼働不足により需要に答えられないことを理由に「ライドシェア推進派」の声が増大しています。岸田首相をはじめとする一部の議員たちが超党派を結成し「ライドシェア導入に向け具体的な協議」が開始され、タクシー業界は再び危機に晒されています。

齊藤鉄夫国土交通大臣は、「運行管理や車両整備に責任を負う主体を置かないままに、自家用車のドライバーのみが運送責任を負う形態のライドシェアについては、特区でも認める考えはない」との答弁を維持しています。岸田首相の指示もあつた中、自家用有償旅客運送制度のさらなる緩和が進む可能性を示唆する答弁もあり、この先「白タク合法化」

されてしまうのか、「自家用有償旅客運送の範囲内」となるのか、現時点での先は見えませんが、如何なる移動の選択肢が増えようともタクシーが、利用者から選ばれていければライドシェアなど有象無象にほかならないと信じています。海外でライドシェアが拡大した原因に、法制度が整っておらず、タクシートの質が悪く利用者から支持されなかったことにあります。日本には旅客運送を行うための法制度が整えられ、タクシーも世界一と称賛されるほど、高い品質を維持してきました。

労使ともに努力を重ね、血を流し、守り続けてきた輸送の安全・安心と、利用者の利便性・サービス向上に努めてきた私たちが、「ライドシェア」と称する白タクなどと同一視されてはならないのです。

今こそタクシー業に携わるすべての者が一致団結し、それぞれに課せられた使命を全うし、公共交通機関としてのタクシートの誇りをかけて精励恪勤を貫くことが重要です。

既に「公共交通機関としてのタクシートの存続を賭けた戦い」は始まっています。ひとりひとりが危機意識を持って日々の業務に取り組んでいただくようお願いいたします。

昨年末にかけて組合員のみならずには「ライドシェア合法化反対」署名に沢山のご協力をいただきました。心からの感謝を申し上げます。全国から集まった署名とともに通常国会にお願いいたします。今後も東洋交通労働組合は、全自交労連に結集する仲間とともにあらゆる友誼を結ぶ者、団体と連携し「白タクライドシェア合法化阻止」する運動を、これまで以上に強化して参ります。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

タクシー労働組合界第1号 組合活動のDX化スタート!

TUNAGでもっとつながろう!

東洋交通労働組合・共済組合は、第50回定期大会・第82回代議員総会の決定に基づき「TUNAG」アプリを導入しました。これまで毎月発行してきた機関紙の内容をより身近なものとし共有する目的と、イベント出欠など紙面配布を減らし、紛失により徹底されなかった情報等も周知することができ、お手元のスマートフォンや自宅のパソコン・タブレットから各種給付金申請ができるようになります。さらに組合への相談やご意見等も投稿でき、面と向かつては話しづらいような内容でも管理者にしか公開されない形で可能となります。タイムラインでは、これまでの営業情報メールと同じように使用できる機能も備えており、既に登録定員がオーバーしたメールアドレスを廃止しアプリ内から首都高の通行止め情報や主な催事も、外部リンクに直接繋がりが必要な情報だけを入手することができまます。

今期、組合・共済組合運営は少人数の役員で運営を行っています。組合員・共済組合員のみなさまには、これまで通りの充実した福利厚生をお届けし、組合活動をより身近なものとしていただくために、全員のアカウント登録が必要です。アプリやスマホ操作が苦手な方にはお手伝いをいたしますのでご協力をお願いいたします。

「頑張った者が報われる」

2024春闘を闘う!

2023年12月11日「2023年秋闘要求」に対する回答が出されました。要求項目に対し、新たに追加した「車椅子対応手当」や「空転補償の上乗せ」、「ワクチン接種の会社負担」には満足な回答は得られなかったものの、インフルエンザの予防接種の会社負担を来期から現行1,000円から1,700円に増額すること、例年通りのお年賀・風呂場修繕と職場環境修繕の具体的な工事日程が示されました。要求にはなかった「JPN車両布チエーン導入」を追加回答とし、春闘要求の中で協議をすすめると明記した「頑張った者が報われる賞与配分率及び算定營收区分変更」を2024年4月賞与に間に合うようにと具体的時期を示す回答を得ることができ、賃金部分の改善は、一歩前進です。しかし、年間出番表については折り合いがつかず、2007年に日交資本となつてからこれまでの16年間、「ABシフト完全日曜定休」の東洋らしさを守り続けて来ましたが、稼働人員数の

増加と既にABシフト以外の組合員の割合が逆転しており、現在タクシーが不足、稼働不足を理由にライドシェア合法化論が騒がれている中では、一台でも多くのタクシーを稼働させることはタクシー会社としての使命であり、法人のタクシー乗務員にとっては義務でもあります。稼働数を確保した上で、乗務員全員が平等に出番数を確保しなければならぬことを鑑みると、会社の主張するようにこれまで通りにはシフトを組めなくなると予想はできません。

しかし、会社が提案してきた年間出番表は、安易に受け入れられるようなものではありませんでした。また工夫の仕方はありますし、社員としての義務、労働者として誠実に労働する義務を果たしてきた組合員には、希望は考慮されるべきです。現在、できる限りの方法を協議中です。今暫くお待ちください。

2023春闘後、頑張った者が報われる賃金へと月例給・賞与配分の検討を重ねて参りました。東洋は他社に比べて下の層が手厚く、売上の高い層が下の層を支えている形の賃金・賞与であり、この賃金にコロナ禍の厳しい最中は救われたという思いがありました。しかし、昨年の運賃改定後にはかつてないほどの高營收が見込めるようになり、能率給や賞与に反映されるべき部分は、オール歩合賃金と比較すると格差が広がっている事実も見逃すことはできません。現在協議中の賞与配分は、運賃改定後の増収分を加味し、現状に見合った賞与の形となるよう検討しています。

2024春闘では協議中事項の正式回答と、これまでの積み残した要求の実現、「東洋基準」を踏まえた月例給でも「物価高騰に負けない賃金」を目指し全力で取り組んで参ります。

組合員のみなさまが、これまで以上に「桜にNに所属するプロドライバー」としての誇りと自覚を持ち、乗務に務めていただくことが最大の力となります。思いを一つにし、2024春闘勝利を目指しましょう!

結びに、組合員のみなさまとご家族のご健勝・ご多幸、桜にNに結集する全乗務員のみなさまの無事故・無違反をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



- | | |
|--------|-------|
| 執行委員長 | 菊池 るみ |
| 副執行委員長 | 筒井 守 |
| 書記長 | 岩淵 マリ |
| 書記次長 | 河西 純孝 |

連合東京女性委員会 委員長に菊池るみ再任 女性労働者のための制度・政策要求に向け今期も全力で取り組む!

《具体的活動》

- 春闘関連
- 国際女性デーの取り組み
- 女性の労働組合への参加と促進
- 制度・政策要求の取り組み
- 女性のための「労働相談ホットライン」
アピール街宣行動
- 男女平等セミナー
- 「男女平等参画推進委員会」開催
- 連合ジェンダー平等推進中央集会
(各産別の代表29名の役員で活動しています)



コロナ禍で、最も深刻な影響を受けた「非正規雇用」や「ひとり親家族」は、その多くが女性であることが明らかになり、女性労働者の代表として果たすべき役割と取り組むべき課題の重要性を強く感じています。「働きやすい職場環境＝働き続けられる産業」にするためには、単組・地方連合会・産別の女性参画率を高めることで相互理解を促進することが重要。今後もフラットな立場で知恵を出し合いながら、制度・政策要求に繋げて「真の男女平等」の実現に向けて力を注いで参ります!